

「ICTイノベーションセミナー2023」を開催

＜SCOPE成果発表及びNICTの研究開発支援施策の紹介＞

東海総合通信局(局長 北林 大昌)は、令和5年2月13日、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰名古屋工業大学名誉教授)及び国立研究開発法人情報通信研究機構(理事長 徳田 英幸)との共催により、「ICTイノベーションセミナー2023」をZoomウェビナーで開催し、大学、企業等、60名が視聴しました。

本セミナーでは、総務省における電波政策の紹介及び戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の研究開発の成果発表を行いました。また、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が行う支援施策の研究開発状況を紹介しました。

第1部

SCOPEの研究開発成果発表



「ウェアラブル触覚センサとAIアシストによる双実施型遠隔触診システムの研究開発」
名古屋工業大学
教授 田中 由浩 氏



「柔軟伸縮素材を伝送媒体とする接触・非接触併用型二次元通信の研究開発」
高知工科大学
准教授 野田 聡人 氏



「小型・高性能1THz帯量子カスケード半導体光源の研究開発」
浜松ホトニクス株式会社
藤田 和上 氏



開会挨拶
東海総合通信局
局長 北林 大昌

第2部

NICT地域連携・産学連携について



「NICTからの挨拶」
情報通信研究機構
統括 畠山 忍 氏



「データ・サステナビリティのための実世界データ醸造基盤」
名古屋大学
助教 浦野 健太 氏



「ブルーカーボン貯留量の自動計測システムの開発による漁村の脱炭素・収益向上に向けた取組」
鳥羽商船高等専門学校
教授 江崎 修央 氏



「東海地域におけるNICTのコーディネート活動」
情報通信研究機構
コーディネータ 畠中 幸一 氏
(株)ウエスト中部支社長

特別講演では、総務省国際戦略局の川野技術政策課長から「Beyond 5G(6G)に向けた情報通信技術戦略」と題して、総務省における取組について、講演を行いました。

第1部では、平成30年度から令和2年度までの間に、東海地区で採択された3件のSCOPE研究開発について、研究代表者から成果発表が行われました。

第2部では、NICTが公募した「令和4年度データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発」に、東海地区で採択された2件の研究開発について、研究代表者から進捗状況の報告が行われました。



配信場所となったナゴヤイノベーションズガレージ
(名古屋市中区栄3-18-1)に集まった講師の方々

最後に、NICTから「東海地域におけるNICTのコーディネート活動」について紹介がありました。

当局では、引き続き電波の効率的な利用と新たな無線システムの普及促進に向けた取組を進めていきます。



開会挨拶
東海情報通信懇談会
電波部会
部会長 片山 正昭 氏
(名古屋大学教授)



特別講演
国際戦略局
技術政策課長 川野 真稔

お問合せ先 : 電波利用企画課 052-971-9143